

# 単独集落での協力隊募集ができるようになりました☆

## 地域内の人口維持と様々な分野の担い手確保のために☆

昨年度末から、単独集落での協力隊受入れの体制づくりについての関係機関等との話し合いを重ねてきました。今年度から十日町市における協力隊受入れ体制が変わったことにより、単独集落での協力隊受入れが可能になりました。

それに伴い、黒倉集落が「集落内の人口維持と農業等の担い手確保」のために、単独集落での協力隊受入れを行うことになりました。準備が整い次第、里山プロジェクトのホームページにて情報発信を始めます。※、協力隊受入れは社会情勢が落ち着いてからとなります。

地域おこし協力隊の受入れについては、世話人や住まい、任務内容などについて、集落や地区のみなさんからのご理解やご協力、関係機関との調整などが欠かせません。集落単独受入れに関わらず、協力隊受入れに興味ある方は支援員または支所にお問合せください。

※布川地区では、これまでどおり地区内9集落を担当する協力隊を募集しています。

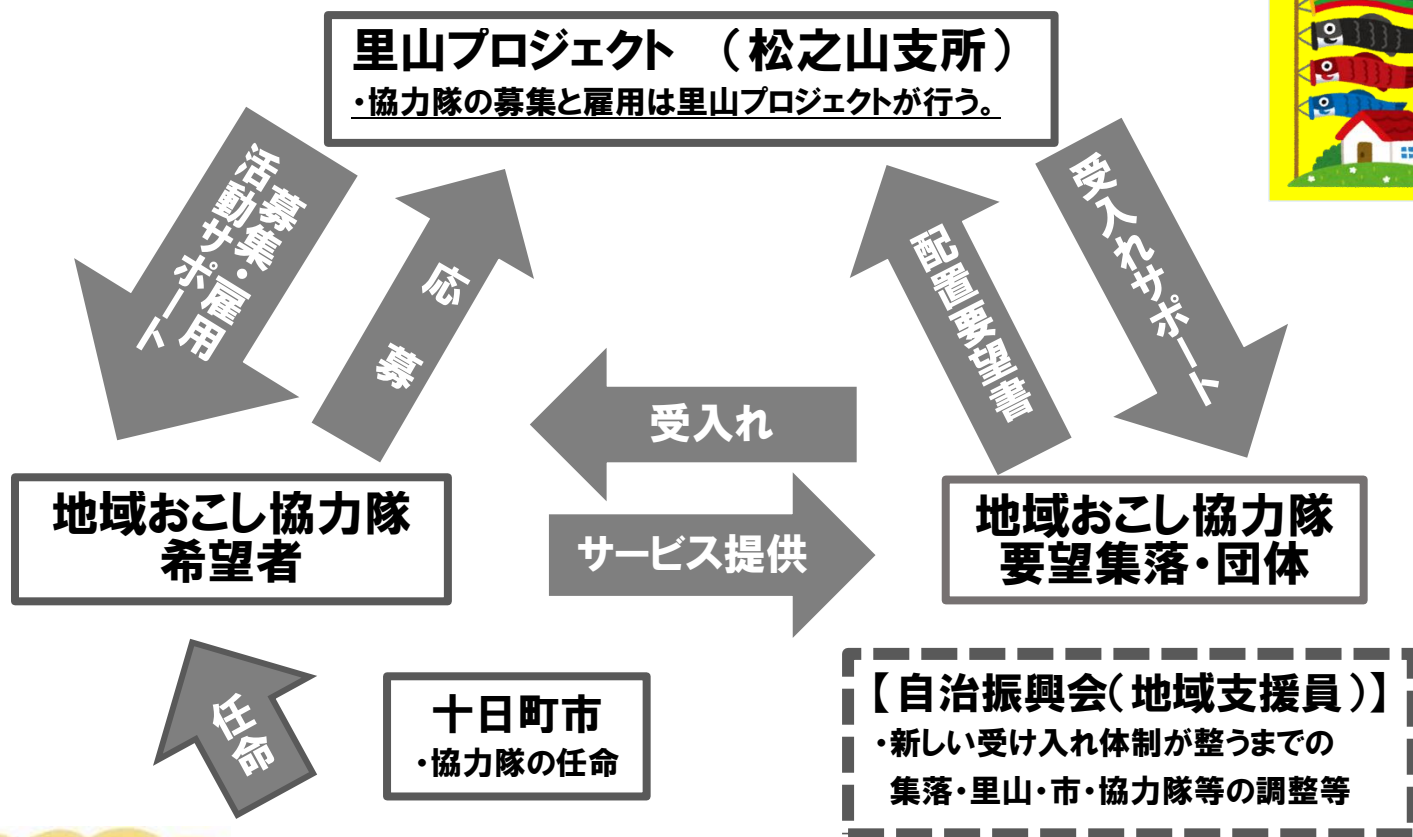


## 松之山地域における協力隊受入れ体制(イメージ)

～農業や除雪等の担い手確保、移住促進による人口維持対策として～

### 里山プロジェクト (松之山支所)

・協力隊の募集と雇用は里山プロジェクトが行う。



おしらせ

## 新型コロナウイルス感染症対策について

地域おこし協力隊希望者の受入れや、協力隊希望者向けツアー検討会開催などについては、社会情勢が落ち着いてからを予定しています。それまでは、情報発信のみ行います。

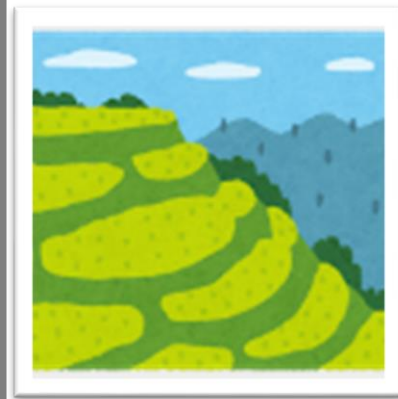
現段階における情報発信は、時が来たらすぐに取り組みを実施できるようにするための、準備の一つとご理解ください。

地域内における話し合いについては、3密を避けた少人数で可能な範囲で、継続します。

# 協力隊希望者向けツアーの“検討会”を予定しています☆

協力隊希望者にも、協力隊要望集落にも、個性がありますね。「こんなことしたい」「あんなことしてほしい」そんなあれこれのマッチング度が高いと、お互いがよりハッピーになれる気がします。

そんな思いから、十日町市には“お試し協力隊”という制度があります。2泊3日以上1か月以内の期間、協力隊希望者が協力隊要望集落での生活体験しながら、お互いのマッチング度を図るというものです。



全国各地には様々な移住体験ツアーがありますが、身近なところでは、津南町三箇地区がユニークな取組みをされ、協力隊希望者とのマッチングを高めた事例があります。その名も『潜在的移住希望者向けツアープラン』。このプランは実際に移住した人たちの目線で“都会に潜在的にいるであろう田舎への移住希望者が行ってみたいくなるようなツアープラン”のアイデア出し検討会を行い、企画運営を「三箇地区都会との交流を進める会」がされました。移住者視点の移住ツアーってあるようでなかったかも！？

そこで！松之山地域内でも、移住者視点での『協力隊希望者向けツアー』の検討会をしたい！と考えています。地域みなさんとつながりながら松之山暮らしを楽しんでいる移住者みなさん（Iターン、Uターン、嫁いできた等含む）からのアイデアが、新しい協力隊との出会いを生み出すかもしれません。検討会に興味をお持ちいただいた方は支援員までお声がけください。

## お問い合わせ

十日町市役所松之山支所  
地域支援員 本山・佐藤  
☎ 596-3131  
FAX 596-3515

## 現在進行中の話し合い

「大地の芸術祭作品誘致」（松之山地区有志）、「安心安全な地域づくり」（天水越集落）、「湯鳥大運動会見直し検討委員会」等の話し合いについては、社会情勢が落ち着いてから再開する予定でいます。時が来たらすぐに話し合いを進められるように、それまでは情報提供などを行いながら機運が下がらないように努めますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

松之山・三省・松里・浦田の4地区による「棚田地域振興法の協議会設立に向けた話し合い」については、書面決済などを含めながら、可能な範囲での事務作業を進めています。



松之山町史を  
読み解きながら③

松之山地域では、縄文時代の遺跡があることが町史に記載されていることから、一万年以上前から人の往来があったと想像されます。人の往来は、生活・芸能文化などの交流や物流などを生み出し、生活機能の向上に寄与してきました。一方、近年の世界規模での多量な人や物の移動は、未知なる病原菌や動植物の外来種などを運び込むということなどで、その地域らしい生活文化の質を変化させることを重ねてきたようです。

新型コロナウイルス感染症対策により様々な分野の活動や移動の自粛が要請されています。人やモノ、お金の流れが大きく変化していきます。これからの時代における持続可能な暮らしや地域のあり方とは？ハテナの答えを見つけるヒントは先人の方々の創意工夫にもあるかもしれません。